

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス すまいるくらぶ				公表日	7年 2月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%			ご利用者の人数や車椅子を使用する方の人数によって、狭くなってしまう場合もあります。希望に応じて、ホールやプレイルーム、テラスを使用して過ごすことができます。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		100%	少ない人数で協力し、安全に過ごすことができるこを維持しています。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	75%	25%		大部分はバリアフリーになっているが、テラスに出るときは段差があるため、安全に配慮した支援を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		終業後に毎日清掃を実施し、清潔な環境に整えています。危険がないようにも日々考えて環境設定に努めています。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	75%	25%	希望に応じてや職員側が必要と判断した際に、使用できるようにしています。	部屋の数が少ないので全員が平等に使用することができないこともあります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		保護者のご意向を把握する機会を設けており、業務改善にも努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		朝礼や終礼、話し合う場を作り日々業務改善に努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		定期的に開催されている職員研修に参加し、参加した職員からの発表をもとに情報交換を行っています。	法人内でも研修が開催されているため、他のサービスを提供している職員と話ができる場も設けられています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		ご利用者と保護者よりニーズの確認をとり、そのニーズに基づいて計画書を作成させていただいている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	75%	25%		うまく共有ができていないこともあります。会議等の進め方などを再検討していきます。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		毎日違う活動を職員が考え、一人ひとりにあった活動が行えるように工夫しています。		

供	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		必ずミーティングを行い、報告、連絡、相談ができる場を設けています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		終礼では、その日の支援で気付いたことや家族との会話など情報共有すること心がけています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		活動や遊びの時間だけではなく、健康状態や変わった様子が見られた際には、記録を必ず行っています。	記録をもとに、支援の検証・改善に努めて今後も引き続き行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	50%	50%	家族との面談や日々の連絡などで話し合い、情報共有を行っています。	相談支援専門員からのモニタリングを受けているが、事業所側よりご利用者全員に対して行えていないため、行えられるように検討していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	50%	50%	長期休みでは、外出活動等を行い、地域とのかかわりを深められるように支援しています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	75%	25%	意思の疎通が苦手な利用者に対しても、声かけや視覚的情報などを通じて、目や体の動きなどからどのような思いがあるか確認するよう努めています。	一人ひとりが自己決定がしやすくなるようにどうすればいいかを職員間で話し合っています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		担当職員が会議等に出席し、会議の内容を必ず報告して事業所内で情報共有を行っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50%	50%		学校での様子がわからないまま引き渡しをされることがあるため、情報を聞けるように検討していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	50%	50%		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	50%	50%	相談支援専門員を通して、情報を提供することがあります。	あまり事例が少ないので、提供できるような準備は行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%		年3回、研修を開催されている為、研修に参加しています。研修を通して、事業所で出た疑問点などを聞き、助言を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		100%		今後検討させていただきます。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	100%		連絡会や児童発達支援センターの研修などに参加し、情報共有、情報交換を行っています。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		送迎時や連絡帳で日頃の状況をお伝えさせていただいております。	職員間でも終礼で様子や課題を伝え、情報共有を大事にしています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%		必要に応じて実施していきます。 放課後等デイサービスだけではなく、他のサービスとの連携も大事だと思います。
支援者	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		ご契約時に書類を用いて、ご説明をさせていただいております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		アセスメントやニーズ表から家族の思いをお聞きし、職員間で共有させていただいております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		希望される方は必ず実施しており、それ以外でも必要に応じて実施しています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		100%		親子行事などを通して、交流する時間を作つていただけるように検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		苦情内容は職員にも伝えていき、どう対応していくかを全員で考え、実施しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		おたよりやお知らせ等を発行しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		一人ひとりにあったコミュニケーション方法でご支援させていただいております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100%		放課後等デイサービスだけでは行っておらず、感染状況等で今後苑全体としても参加できるように検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	50%	50%	苑全体の各委員会等の研修、訓練に参加しています。年に3回ほど放課後等デイサービス単体で避難訓練を行っております。	周知の仕方も再検討し、わかりやすくできるようにしていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	25%	75%		苑全体として、どうしていくかを今後検討していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		書面化して、全員がわかるようにしています。緊急時対応なども記載し、スムーズに対応できるようにしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		指示書に基づいて、家族や管理栄養士、看護師と話し合い、ご対応させていただいております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		作成した安全計画に基づいて、訓練等を実施しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	50%	50%	ご契約時の説明や玄関に掲示し、わかるようにしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		起きた事案については、必ず報告書を通して、職員間で話し合い、今後も防ぐための	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		ご契約時に説明をさせていただき、書面にて同意をいただいております。	